

科目名	PBL-X：シリコンバレー型起業演習
成績入力担当	内田 浩史
開講区分	後期
曜日・時限	火2
教室	眺望館1階Vルーム
授業のテーマ	シリコンバレーで実際に行われているスタイルにより、起業体験型ワークショップを行い、実践的に経営学を学ぶことを目的とした授業です。セミナー形式でビジネスプランの立案に必要な各スキル（デザイン思考、システム思考、ブレインストーミング、プレゼンスキルなど）を習得しつつ、講義形式で収益分析や事業モデル等の起業関連知識を学習します。最終的にはグループごとに具体的なビジネスプランの立案と発表を行います。
授業の到達目標	<p>起業を目指したビジネスモデルの立案や関連する講義を通じ、起業・アントレプレナーシップに関する理解を深めること、さらには自らの事業立案を通じて経営学の諸知識（商品開発、市場分析、マーケティング、財務・収益分析など）を実践的に、良い意味で「広く浅く」網羅的に、講義形式の授業とは異なる形で身に付けられるようになることを目標とします。</p> <p>また起業に必要なスキルの習得を通じ、革新的で前向きな思考法（マインドセット）を身に付け、社会に対して価値を生み出すことのできる潜在能力を涵養することも目指します。</p> <p>こうした能力は、スタートアップ企業に限らず大企業や官庁、学界等様々な分野で求められています。</p>
授業の概要と計画	<p>第1回：イントロダクション、デザイン思考プロジェクト  第2～4回：デザイン思考Lecture、デザイン思考プロジェクト  第5回：デザイン思考プロジェクト発表会  第6～14回：チームプロジェクト  第15回：チームプロジェクト最終発表会・到達度確認</p> <p>調整が必要なため回は特定できませんが、ゲスト講師による講演とプロジェクトの講評を複数回含みます。それ以外の回には、起業に必要なスキル（価値連鎖分析・ビジネスモデル・システム思考・資金調達等）に関するLectureを適宜含めることがあります。また各チームのプロジェクトの進行状況に応じて、各回の内容を多少調整する可能性があります。</p> <p>授業は対面で行います。V.School祇園景子准教授、鶴田宏樹准教授とともに担当します。</p>
履修上の注意（関連科目情報）	<ul style="list-style-type: none"> <li>やる気がある人は所属学部・バックグラウンドに関係なく歓迎します（他学部生、経営学初学者でも楽しく学べる形式を取ります）</li> <li>グループワークを中心とした授業（演習形式のセミナー）であるため、毎回の出席が必須であり、授業時間外の活動、チームメンバーとの共同作業が必要となります。</li> <li>事前の履修申込が必要です。定員は30名程度（経営学部生15名程度、他学部生15名程度）とし、超える場合は選抜を行う予定です。</li> <li>登録・選抜方法の詳細については経営学部ホームページで告知するので、必ずチェックしてください。</li> <li>事前登録された後での登録の変更、取りやめは認めません。</li> <li>頻繁にBEEFを確認してください。</li> <li>履修登録後の授業関連の連絡・やり取りは、Slackを利用する予定です。</li> </ul> <p>【関連科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営学部の様々な講義で扱われる多様なトピック（デザイン思考、システム思考、アントレプレナーシップ、マーケティング、収益分析、資金調達、等）を学ぶため、経営学部の多くの講義と関係しています。</li> <li>2023年度より、この授業の上級編といえる科目「ソーシャルビジネスプランニング」が始まります。社会的課題の解決を目指してビジネスプランを考える科目です。併せて受講することをお勧めします。</li> </ul>
事前・事後学修	事前学習・事後学習の両方に関わりますが、課題設定と解決策の提案を中心として、ビジネスプラン策定に必要なサイクルをぐるぐると繰り返すので、授業時間内外でメンバーと協力し、積極的にグループワークを行ってください。

<p>学生へのメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでメンバーと協力し合いながら、実際のビジネスプランを考えていくセミナーであり、自ら能動的・積極的に学びたい、意欲のある学生にぴったりの授業です。</li> <li>・授業外でもグループごとのワークが求められるため、就職活動やバイト、部活等を理由にしてグループワークへの貢献が低く、他のメンバーに迷惑をかける場合は、履修途中でもドロップアウトしてもらいます。やる気のある学生はみな忙しく、特定のメンバーのみに特殊事情を理由として負担の軽減を許すことはありません。PCとネット環境さえあれば遠隔でもグループワークは可能な時代であり、実社会においてもむしろそのような働き方をする人、1人何役もこなす人が活躍しています。そうしたスキルも身に付けてもらいます。</li> <li>・過去の受講生からは、この授業の活動が就活時のアピールになったという声をたくさんもらっています（下記参考URLも参照）。</li> <li>・起業家や起業のサポートに実際に関わっておられる外部ゲストもお迎えします（アクセラレーターのPlug and Play Japanや慶応大学等から複数名招聘）ので、ダイナミックで実践型な内容となります。</li> </ul>
<p>参考書・参考資料等</p>	<p>ゼロ・トゥ・ワン 君はゼロから何を生み出せるか(ピーター・ティール)NHK出版 2014</p> <p>リーン・スタートアップ(エリック・リース)日経BP 2012</p> <p>実践 スタンフォード式 デザイン思考(ジャスパー・ウ)インプレス 2019</p>
<p>参考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シリコンバレー型起業演習ブログ（過去の受講生が書いてくれたブログ）  <a href="https://ameblo.jp/shidai-siliconvalley/">https://ameblo.jp/shidai-siliconvalley/</a></li> <li>・過去の受講生からのメッセージ（受講のおすすめ）  <a href="https://b.kobe-u.ac.jp/~uchida/siliconvalley.html">https://b.kobe-u.ac.jp/~uchida/siliconvalley.html</a></li> </ul>